



またかた

よろこび多いまちづくり

社協だより

vol.25

平成24年
11月1日号

第8回 喜多方市社会福祉大会

とき

平成24年11月29日(木)



ところ

喜多方市総合福祉センター
多目的ホール

内容

9:30～ 式典

- ・社会福祉功労者表彰
- ・児童生徒の福祉作文発表

11:00～12:30

記念講演

社会福祉大会はどなたでも参加できますので、お誘い合わせの上ご来場下さい。(申込不要、参加無料)

主催 喜多方市・喜多方市社会福祉協議会

問合せ 喜多方市社会福祉協議会

(喜多方市字上江3646番地1)

☎0241-23-3231

記念講演

笑顔でいきんしゃい!

～がばいばあちゃんとの

心あたたまるエピソード～

《講師》

しまだ ようしち
タレント 島田 洋七氏

漫才コンビB&Bとして漫才ブームの先駆者となる。現在は、タレントとして活躍の傍ら、講演、執筆活動にも精力的に取り組まれ、特に著書「佐賀のがばいばあちゃん」はシリーズ670万部を超える大ベストセラーとなる。

● おもな内容 ●

- 共同募金
山都町赤十字奉仕団・街頭募金ボランティア… 2・3
- 各地区ふれあいだより… 4
- 高齢者生産活動センター・ボランティアスクール
訪問活動協力・温泉保養施設夢の森より… 5
- よらんしょネット… 6
- 寄付報告・ふれあいいいききサロン紹介… 7
- 在宅介護者教室・ボランティア指定校
成年後見制度について… 8

～やさしさを 絆でつなぐ 赤い羽根～
平成24年度 共同募金運動
ご協力ありがとうございます!



平成24年度
 喜多方市の目標額

共同募金 **8,700,000円**
 歳末たすけあい **5,099,000円**

今年も十月一日から「赤い羽根共同募金運動」が全国一斉にスタートしました。

皆様からお寄せいただいた寄付金は、県内の民間社会福祉施設の整備や、備品・車両の購入をはじめ、地域において社会福祉活動を推進している社会福祉協議会やNPO団体、ボランティア団体等に配分され、地域の皆様が住みよい福祉社会の実現のため、有効に活用されています。

また十二月一日からは、赤い羽根共同募金運動の一環として「歳末たすけあい運動」が展開されます。この募金は福島県共同募金会を通じて、全額がご協力いただいた地域に配分され、要援護世帯等への見舞金贈呈事業やおせち料理配食事業などの地域福祉事業に役立てられます。

共同募金は「じぶんの町を良くするしくみ。」をスローガンとして展開されており、誰もが安心・安全に暮らせるまちづくりの実現に向けた様々な福祉事業を支援していく貴重な財源として大きな役割を担っています。今後とも市民の皆様の温かいご支援とご協力をよろしくお願い致します。

福島県共同募金会喜多方市支会
 喜多方市社会福祉協議会

共同募金の組織は?

全国組織としての中央共同募金会。各都道府県共同募金会。そして市町村には支会、分会が組織されています。喜多方市では社会福祉協議会が事務局を担当しています。

共同募金の?



共同募金の始まりは?

第一回共同募金運動は、昭和二十二年に実施されました。戦後、多くの国民が生活に困窮し、民間社会福祉施設も経営難に陥っていたことと、憲法により民間施設、団体への公金支出が禁止されたことが、実施のきっかけとなり、皆さんの募金が地域の福祉を支える仕組みができました。

募金はどんなことに使われるの??

募金は集められた都道府県ごとに配分され、主に高齢者・障がい者・児童・地域のそれぞれの福祉分野での施設や様々な事業に活用されています。また、その世代の社会問題を解決するための事業(児童虐待、ひきこもり、自殺予防など)にも役立てられています。

募金は全国でどのくらい集まるの??

昨年度の共同募金運動は、東日本大震災という甚大な被害があったにもかかわらず、全国で約一九五億円のご寄付をいただきました。



社会福祉法人 中央共同募金会
 HP: <http://www.akaihane.or.jp>

赤い羽根共同募金は 皆さんのやさしさに支えられています

赤い羽根共同募金は、各家庭にお願いしている「戸別募金」のほか、「街頭募金」、「法人募金」、「職域募金」、「学校募金」、「イベント募金」と様々なかたちで、多くの市民の皆さんのご協力をいただいています。皆さんのやさしさに心から感謝申し上げます。

また募金運動は、民生児童委員や赤十字奉仕団、ガールスカウト、街頭募金の学生ボランティアなど募金ボランティアの皆さんの参加協力のもとに実施しています。



ボランティアさんの声



福島県立喜多方高等学校
生徒会長 渡部有紀さん

今回、喜多方高校生徒会として赤い羽根共同募金活動に参加させていただきましたが、募金とは慈愛に満ちた勇気ある行動だと改めて考えさせられました。

子どもからお年寄りの皆さんまで募金をしてくださり、福島県の震災復興も遠くないという期待を抱くことができました。募金とは一人一人の優しさで積み重なっており、その善意の輪を広げていくのが今後の私たちの役割だと思っています。

とても貴重な体験をさせていただきました。



山都町赤十字奉仕団
委員長 湯田 功さん

私たち奉仕団は、赤い羽根共同募金活動で町内の事業所なども12ヶ所訪問し、募金のご協力をいただきました。

以前から比べると職域統合で職員数がだいぶ減ってきていますが、募金額は感謝の一言。

夫々の職場にドラマがあり、職場費の中から快く大枚を……。あるいは、昼食代を削ってまで……。と様々な熱いシーンを観て、みんなの思いが有効に配分されることを祈ります。



喜多方地区 喜多方市赤十字奉仕団『復興支援』芋煮会

喜多方市赤十字奉仕団では東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故により避難されている方への復興支援として、10月4日には幸橋南側河川敷にて、炊き出し訓練を兼ね『復興支援』芋煮会を行いました。毎年招待している通所作業所『ふれあいの家』のメンバーと、長原地区仮設住宅(会津若松市)への避難者23名、市内在住の避難者16名も参加し、総勢90名以上の賑やかなイベントになりました。音楽にあわせて唄ったり手遊びをしたり、出来たての芋汁やおにぎりなどを頂き、交流を深めました。参加された避難者の方々は「とっても楽しかった!」「また会いましょう!」「本当にありがとう!」と、皆さん笑顔で喜んでいらっしゃいました。



おもちゃ図書館(だんご作り)

熱塩加納地区



おもちゃ図書館でお友達と遊んだあとは、赤十字奉仕団の人といっしょにだんごを作りました。
きなこだんご・みたらしだんご・ぬただんご。
お口より大きなだんごをおなかいっぱいいただきました。
おいしかったなあ。

塩川地区 救命法等(心肺蘇生法・AED)講習会

毎年、塩川町内に在住されている方を対象に実施しております。

ダミー人形を用い、救急隊が到着するまでの一時救命処置としての心肺蘇生法とAED(自動体外式除細動器)使用上の手順と留意点を小グループに分かれ受講しました。

参加された皆さんの関心も高く、万が一の為に知識と技術を熱心に学んでおられました。



秋の味覚を堪能 ～一人暮らし高齢者バス旅行～

山都地区



山都支所で毎年実施している一人暮らし高齢者バス旅行は、山都地区ふれあい福祉協議会委員のご協力をいただきながら、今年は10月4日に熱塩加納町方面へ足を伸ばしました。一人ではなかなか機会のないふどう狩りや温泉入浴、道の駅でのお買物を楽しみました。最後に願成寺の会津大仏を参拝し、身近にある国指定重要文化財に感心されていました。

高郷地区 来春が楽しみです!! ~高郷地区老人クラブボランティア活動~

この夏、高郷地区老人クラブ連合会では、「かたくり荘」周辺の道路にスイセンの花苗を植えようと、会員の皆さんがそれぞれに家で育てた球根をたくさん持ち寄りしました。

これらの球根は、道路の両側約420メートルにわたり植えられました。高郷地区老人クラブの皆さんによると、この道路は地域の皆さんをはじめ高郷の温泉を訪れる多くのお客様が通行されることから、早春に咲くスイセンの花を思い浮かべ来春が楽しみと語りあいました。



高郷地区老人クラブ連合会の皆さんによる「スイセンの花苗の球根」の植え付け作業の様子。

～喜多方市高齢者生産活動センターの活動から～
「丸森町高齢者生産活動センターとの相互研修交流」

秋のイベント開催で忙しさを増す10月を前に9月13・14日の両日7グループの役員の視察研修を行いました。

視察先の宮城県丸森町の高齢者生産活動セ



ンターは、わら細工、竹細工、食物(味噌作り)、織物、園芸の生産部があり、その技術の高さと売上金の多さに皆驚いて、そのノウハウを得ようと時間を超過して質問していました。

その丸森町のセンターより、代表の方50名が、初めて当センターを訪れ、各グループ長との意見交換を行ない、注連縄作りや、起き上がり小法師、陶芸などの作業を視察されました。

当施設の明るい雰囲気に感動され、これからも、お互いに交流を深めながら、生産と技術の向上に努めていきたいとの意見が出ました。

**「将来の福祉を担う
人材の育成のために」**
 ～サマーショートボランティアスクールの開催～

喜多方市社会福祉協議会では本所・各支所において、小学生から高校生を対象に、夏休みを利用したサマーショートボランティアスクールを開催しました。

デイサービスセンターや老人保健施設、児童館などでの体験やボランティア活動に取り組みました。はじめは、はずかしさもあったようですが、目的をもって熱心に取り組んでいました。

本協議会では、市内小中学校のボランティア協力校の指定に伴う支援とあわせて、このボランティアスクールを福祉教育の推進にかかる重要な事業として力を入れて取り組んでいます。



**東日本大震災・福島第一原子力発電所事故
被災者支援活動の取組み**

喜多方市社協では、双葉町社協からの要請により、本市に避難されている双葉町民のお宅への訪問活動に協力しました。双葉町社協の生活支援相談員の方々と一緒にお宅を訪ね、被災当時の話や喜多方での生活状況をお聞きし、この災害・事故の被害の大きさや被災者の皆さんの苦悩を痛感しました。

また、大熊町社協が避難されている皆さんの情報交換や交流を目的としている「大熊のつどい」(月1回喜多方市総合福祉センターにて開催)にも職員を派遣し、慣れない土地で生活をされている方々の支援に積極的に取り組んでいます。

～温泉保養施設 夢の森より～

**夢の森の池に
かわいい錦鯉が仲間いり!**

いつも温泉を利用しているお客様が「この池には赤い鯉がいないなあ～持ってきてやるよ!」と錦鯉を放してくれました。小さくてかわいい錦鯉は「大きく育てほしいね!」と訪れるお客様にも見守られ、今では大きな池をスイスイと泳ぎ廻っております。



“よらんしよネット”

喜多方市地域包括支援センター
TEL.0241-21-8856

～地域包括支援センターだより～

喜多方市の高齢者人口(65歳以上)は、15,745名(H24.8現在)。高齢化率は30.7%となり、100歳以上の方も32名おられます。また、福島県の健康寿命※は男性69.97歳(平均寿命77.97歳)、女性74.09歳(平均寿命85.45歳)とされています。介護予防を心がけた生活を送り、健康寿命を延ばしましょう。

※介護を受けたり病気で寝たきりになったりせず健康に生活できる期間

知っ得!?元気の秘けつ教室

喜多方市で今年開催しているいきいき高齢者介護予防推進事業の最終回のテーマ「脳トレで若さの秘けつ」を担当しています。指体操、ものなどを記憶し思い出す、曲名クイズなど参加してもらい楽しく脳トレを体験してもらっています。

皆さまの健康寿命を延ばすお手伝いを一緒にできれば!と考えております。



よらんしよ教室

今年度計画した包括支援センター企画の介護予防教室のうち、旧市内では初めての開催である熊倉町小沼地区でのよらんしよ教室が9月12日18名の参加で行われました。地区区長さんご夫妻、民生委員さんも参加くださり、和やかな時間となりました。



今年度は各地区1回の教室となりました。次年度また皆さまの地区に伺います。

地域包括支援センターでは、市内の介護保険サービス提供事業者やケアマネジャーへの支援と、その情報交換ネットワークを築くことを目的に年2回研修会を開催しています。

介護職員支援研修会

「生活を支援するレクリエーション」



地元の会場で介護職員向けにレクリエーション講習の機会を提供したいと企画し9月18日、61名の職員の方々と共に学び合いました。自分自身も楽しんで行うことが相手へも伝わる、よい機会となったとの声が多く聞かれました。



福祉レクリエーションネットワーク in ふくしま
佐藤喜也氏、斎藤公子氏

部会合同講演会



「終末期(緩和)ケアの概念と基本的な考え方」
坪井病院緩和ケア内科部長 渡邊睦弥先生

市内介護保険サービス事業者間の連携及び情報交換、サービスの質の向上やスキルアップを図ることを目的に、喜多方市では事業ごとに7つの部会を設けています。部会長を中心に運営され、包括支援センターでは事務局を担当しています。

9月14日は、県介護支援専門員協会で行うキャリアアップ支援研修制度を活用し3部会合同での講演会を行いました。68名の参加があり、その意識の高さが窺えました。



ご寄付ありがとうございました

お寄せいただいた寄付金は、地域福祉向上のため大切に役立たせていただきます。

(平成24年7月1日～9月30日受付分)
(順不同・敬称略)

一般寄付

喜多方地区

・慶徳小学校(車椅子一台)

熱塩加納地区

・伊賀 尊(鯉稚魚一〇〇匹)

・J A会津いいで女性部

熱塩加納支部

塩川地区

匿名 2件

ご遺志による寄付

喜多方地区

関柴町平林 小枝 清
熊倉町熊倉上 内海 成和
熊倉町熊倉上 佐瀬 好一
埼玉県蓮田市 安田益太郎
千葉県君津市 石部 義雄
菅原町 五十嵐鐵造
福島市 園木 芳正
埼玉県さいたま市 渡部 恵美
寺町一区 有田 千里
関柴町東中明 安倍 則定
豊川町堂畑 手代木義一
豊川町高吉二区 古川 芳夫
上三宮町上三宮区 佐藤まゆみ
熊倉町小沼 渡部 昭雄
松山町飯田 加藤 勇一
熊倉町小沼沢 小林 重一
関柴町平林 穴澤 裕侯
岩月町下岩崎 花見 良雄
豊川町一ノ堰一区 渡部 義博

塩川地区

関柴町中里 田中 一光
豊川町一ノ堰一区 安部 潤一
会津若松市 北見 幹雄
関柴町布流 手代木 智
熊倉町館 佐藤 利一
松山町中村 清水富士男
花園町 桑原 修
関柴町上高額 佐藤 敏子
塗物町 一ノ瀬裕次
北町 入澤 優公
熊倉町高柳 赤城 勇
下町北部 井上さき子
寺町二区 星 昭信
北塩原村 星井トミ子
松山町大荒井第一区 横山 隆幸
岩月町中田付 小林 文雄
塗物町 吉田 正子
上三宮町下三宮 石井 善治
岩月町稲田 坂内スイ子
上三宮町上三宮区 富田 陽子
寺町二区 星 昭信

塩川地区

12区 真鍋由美子
下窪 玉木 功
中ノ目 田部 勝春
10区 佐藤 和弘
6区 佐藤 健一
大沢 大場 義孝
13区 渡部 安正
別府 吉田ヨシノ
6区 吉成 公一
9区 栢場 勉
大沢 三瓶 隆
中道地 関本 武夫
5区 内海 義光
大木 邊見美和子
大沢 外島 文江
4区 秋山 邦彦
唐沢 渡辺 和人
5区 菅谷 庄二

山都地区

下廻戸 遠藤 勝雄
早稲谷 大森 友広
館原 佐藤 誠
館原 鈴木清一郎
堀沢 平野 純一
撫木 小野木四郎
小布瀬原 正木 英三
寺内 真部 勇次
藤沢 高橋ムツ子
中反 五十嵐利宏

高郷地区

千咲原 佐藤 裕
北塩原村 遠藤 勝義
館原 五十嵐光夫
三ツ山 上野 幸男
小布瀬原 齋藤 憲
宮月 小澤 和行
館原 五十嵐啓美江
藤沢 二瓶正太郎
早稲谷 山崎 敬治



ありがとうございました



ふれあい

いきいきサロン

松が丘いきいきサロン

平成12年5月に設立。花壇作りや庭木の剪定講習会、風呂めぐりなどいろいろな活動を行っています。

サロンの他にも毎月、カラオケを楽しむ会と将棋クラブが活動しています。昨年からは、松が丘いきいきサロンで敬老会を企画から運営まで実行委員会を組織して開催しています。

第2回目となる今年の敬老会は、9月17日、松が丘集会所で開催しました。来賓をお迎えし、祝謡や手品、アコーディオンの演奏に合わせていっしょに歌い、手拍子を打ったりしたり、また「長寿の心得」や「おばあちゃんの知恵袋」の紹介では大きな声で笑っていただきました。会場は皆さんの元気がいっぱい溢れ、楽しい時間を過ごされました。



在宅介護者教室参加者募集!!

日時 ①熱塩加納会場 平成24年11月17日(土)

<参加申込>TEL0241-36-3112

②高郷会場 平成24年12月1日(土)

<参加申込>TEL0241-44-7111

③喜多方会場 平成24年12月8日(土)

<参加申込>TEL0241-23-3231

講義 午前の部 10時~12時15分

実技 午後の部 13時~15時15分

募集人員 各会場とも20名程度

募集期間 ①11/13まで ②11/27まで ③12/4まで
(各会場ごとに電話でお申込みください)

高齢者等を在宅で介護している方や介護・福祉に関心のある方に、介護方法や介護サービス、制度に関する情報並びに介護者自身の健康管理等の知識を提供します

主な内容

- 午前の部**
介護サービスの利用について<講義>
お口の中の健康について<講義>
- 午後の部**
ベッド上での介護について<実技>

受講料 200円

※デイサービス食事体験を希望される方は別途500円がかかります

ボランティア協力指定校の活動から

喜多方第三中学校

今年はボランティア体験学習の一環として、デイサービス等での介護体験に加え、初の試みとして、小学生時代にお世話になった児童館での奉仕作業や、中央デイサービスセンターにて合唱部の生徒さんによる、合唱の披露に取り組みました。

美しい歌声はデイサービスの利用者の皆さんの心に届き、爽やかなで清々しいひと時を送ることができました。



喜多方第一小学校

喜多方一小的4年生の皆さんは、点字ボランティア「eyeの会」の会員の方を講師として、点字講習会を実施しました。

視覚障がいについて理解を深め、点字の基本についてや、実際に点字器を使った体験実習を行いました。はじめて見る点字器には興味津々のようでした。皆さん、真剣に取り組みました。



知って安心「成年後見制度」

訪問販売や振り込め詐欺などの悪質商法の被害に遭った高齢者の方のニュースを耳にしたことがありますか？

認知症、知的障がい、精神障がいなどの理由で判断能力の不十分な方は、自分に不利益な契約であっても適切に判断ができずに契約を結んでしまい、悪質商法の被害に遭ってしまうことがあります。また、不動産や預貯金などの財産を管理したり、福祉や介護のサービスや施設への入所に関する契約を結んだりする必要があっても、自分でこれらのことをするのが難しい場合があります。

ご本人のために必要な支援や事情に応じて、家庭裁判所で選任した「成年後見人等」が違法な契約を取り消したり、介護サービスなどの契約等をサポートすることで、住み慣れた地域で、自分らしく、安心した生活を続けるため成年後見制度が手助けとなります。(成年後見制度には「法定後見制度」と「任意後見制度」があります。)

詳しくは、喜多方市地域包括支援センター(0241-21-8856)又は喜多方市役所高齢福祉課(0241-24-5230)へご相談ください。



※きたかた社協だよりの作成経費として、社協会員会費及び共同募金配分金を活用させていただいております。